

# Namo Amida Butsu

## ■ 楽曲データ

歌詞：E. ハント 作詞（松本とおる 訳詞）

楽曲：R. R. ボード 作曲

発表：—

初演：—

初出：—

管理番号：M1701

## ■ 創作の経緯

戦前、ハワイ開教区において創作された作品。創作時期は、作詞者の経歴から1920～1930年代と推測される。原詞は英語。訳詞付の楽譜は1959（昭和34）年、仏教婦人会総連盟の機関誌『めぐみ』第19号に掲載された。

## ■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第2巻収録

底資料：『和英標準佛教讃歌勤式集』 本派本願寺内翻譯課 1939年

比較資料：—

校訂の詳細：特記事項なし

## ■ 解説

### ◆ 作曲者・作詞者について

《Namo Amida Butsu》は、本願寺派ハワイ別院で戦前から歌われていた仏教讃歌です。

作曲のボードは作曲家・オルガニストで、ホノルルのセントアンドリューズ大聖堂のオルガニストを勤めていました。原詞（英語）の作詞は、アーネスト・ハント（法名：真覚）。このふたりと、アーネストの妻ドロシーは、仏教讃歌をいくつも遺しており、彼らが戦前のハワイ教団における仏教讃歌の創作と普及に携わった、中心的な人物であることがうかがえます。1965（昭和40）年にハワイで出版された仏教讃歌集『Praises of the Buddha』（本願寺派ハワイ教団発行）には、彼らの作品のなかから《Hoonko 報恩講》や《The Bodhi Day 成道会》などが掲載されています。

松本とおるによる訳詞では、阿弥陀さまが南無阿弥陀仏のお名号となって、いつでも、どこでも、どんな時でも、私たち衆生にはたらき続けてくださっていることが、凝縮した言葉で表現されています。

私たちの人生には、「まさか」ということがしばしば起こります。そして、人知れず涙を流すことも多々あるでしょう。しかし、そのような私たちの人生を丸ごと抱きとって、苦難の多い人生を生き抜く力を阿弥陀さまは与えてくださいます。「こんなはずではなかった」と嘆く私たちに、真実を見る眼を与えてくださいます。

詩を深く味わい、久遠の昔から私を呼び続けてくださっている阿弥陀さまのはたらきにうなずき、阿弥陀さまに語りかけるつもりで歌いあげてください。

#### ◆歌い方について

- ① 4小節ごとのフレーズ感を大切に、一つひとつの音を十分に保って、なめらかに歌う練習をしましょう。
- ② 2小節目の2分音符ふたつが切れないように。上の音（ラ）に向かって進む勢いを大切に。
- ③ 5小節目から7小節にかけての下降音階が下がりすぎないように、十分に支えましょう。5小節目3拍目の「レ」にしっかり届くようよう注意して。
- ④ 11小節目は、音の「うねり」のようなものを感じながら、高揚感をもって。
- ⑤ 12小節目の全音符は十分な声の厚みを持ち、音の長さも保ちましょう。
- ⑥ 13小節目からの「ナモアマダブツ」は、阿弥陀さまに語りかけるように歌ってみましょう。

#### ◆用途・楽譜など

原曲は四声体で書かれています。音源はCD『憶念』（本願寺出版社より発行）に収録されています。

また、二部合唱版が楽譜集『讃歌集 二部合唱』第1巻、音源はCD『讃歌集 二部合唱 あなたと出逢って』に収録されています。

解説執筆：大分哲照（御堂演奏会指揮者 福岡教区西嘉穂組明圓寺住職）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 35（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第161号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.